

第 1 5 1 回日本医師会定例代議員会 次第

日 時 令和 4 年 6 月 2 5 日 (土) 午前 9 時 3 0 分
場 所 日 本 医 師 会 館
東京都文京区本駒込 2 丁目 2 8 番 1 6 号

1. 開 会

1. 会長挨拶

1. 代議員会議長及び副議長の選定

1. 報 告

令和 3 年度日本医師会事業報告の件

1. 議 事

第 1 号議案 令和 3 年度日本医師会決算の件

第 2 号議案 日本医師会役員（会長、副会長、常任理事、理事、
監事）及び裁定委員選任の件

第 3 号議案 日本医師会役員（会長、副会長、常任理事）選定
の件

1. 閉 会

第 1 5 2 回日本医師会臨時代議員会 次第

日 時 令和 4 年 6 月 2 6 日 (日) 午前 9 時 3 0 分
場 所 日 本 医 師 会 館
東京都文京区本駒込 2 丁目 2 8 番 1 6 号

1. 開 会

1. 会長挨拶

1. 議 事

第 1 号議案 令和 5 年度日本医師会会費賦課徴収の件

1. 閉 会

日本医師会代議員会正副議長、役員及び裁定委員

資料 3

(順序は抽選による)

公益社団法人 日本医師会

代議員会議長候補者 (定数 1 名)

1. 柵 木 充 明 (愛知県)

代議員会副議長候補者 (定数 1 名)

1. 太 田 照 男 (栃木県)

会長候補者 (定数 1 名)

1. 松 本 吉 郎 (埼玉県)

副会長候補者 (定数 3 名)

1. 猪 口 雄 二 (東京都)
2. 角 田 徹 (東京都)
3. 茂 松 茂 人 (大阪府)

常任理事候補者 (定数 10 名)

1. 神 村 裕 子 (山形県)
2. 宮 川 政 昭 (神奈川県)
3. 黒 瀬 巖 (東京都)
4. 細 川 秀 一 (愛知県)
5. 今 村 英 仁 (鹿児島県)
6. 江 澤 和 彦 (岡山県)
7. 釜 范 敏 (群馬県)
8. 城 守 国 斗 (京都府)
9. 長 島 公 之 (栃木県)
10. 渡 辺 弘 司 (広島県)

理事候補者 (定数 15 名以内)

1. 松 家 治 道 (北海道)
2. 河 野 幸 治 (大分県)
3. 平 石 英 三 (和歌山県)
4. 八 田 昌 樹 (兵庫県)
5. 池 端 幸 彦 (福井県)
6. 森 崎 正 幸 (長崎県)
7. 大久保 ゆかり (東京都)
8. 尾 崎 治 夫 (東京都)
9. 野 並 誠 二 (高知県)
10. 渡 辺 憲 (鳥取県)
11. 小 出 詠 子 (愛知県)
12. 金 井 忠 男 (埼玉県)
13. 堂 前 洋 一 郎 (新潟県)
14. 紀 平 幸 一 (静岡県)
15. 佐 藤 和 宏 (宮城県)

監事候補者 (定数 3 名)

1. 馬 瀬 大 助 (富山県)
2. 河 野 雅 行 (宮崎県)
3. 平 川 博 之 (東京都)

裁定委員候補者 (定数 11 名)

1. 松 本 純 一 (三重県)
2. 高 谷 雄 三 (福島県)
3. 柏 井 洋 臣 (和歌山県)
4. 赤 上 晃 (東京都)
5. 興 梶 建 郎 (新潟県)
6. 桐 生 迪 介 (神奈川県)
7. 岡 進 (千葉県)
8. 白 岩 照 男 (東京都)
9. 石 川 紘 (岡山県)
10. 加 来 裕 (熊本県)
11. 山 下 裕 久 (北海道)

*任期：令和 4 年 6 月 25 日より令和 5 年度に関する定例代議員会終結の時まで
(ただし、代議員会正副議長の任期は、代議員の任期による)

令和4年（2022年）6月25日（土） / 「日医君」だより

第151回日本医師会定例代議員会 選挙結果報告

日本医師会

6691

印刷

第151回日本医師会定例代議員会が、6月25日に日本医師会館大講堂で開催され、会長に松本吉郎氏が選任された。役員選任・選定の結果は次のとおり。

【会長】

投票総数376票

松原謙二（64）、○松本吉郎（310）、無効票：1、白票：1

【副会長】

投票総数1125票

今村聡（227）、○猪口雄二（262）、○角田徹（250）、○茂松茂人（265）、

無効票：0、白票：121

【常任理事】

立候補者数定数内

○神村裕子、○宮川政昭、○黒瀬巖、○細川秀一、○今村英仁、
○江澤和彦、○釜沼敏、○城守国斗、○長島公之、○渡辺弘司

【理事】

立候補者数定数内

○松家治道、○河野幸治、○平石英三、○八田昌樹、○池端幸彦、
○森崎正幸、○大久保ゆかり、○尾崎治夫、○野並誠二、○渡辺憲、
○小出詠子、○金井忠男、○堂前洋一郎、○紀平幸一、○佐藤和宏

【監事】

立候補者数定数内

○馬瀬大助、○河野雅行、○平川博之

○が当選者、（）内は得票数。

なお、任期は、令和4年6月25日より令和5年度に関する定例代議員会終結の時まで。詳細については、日医ニュース7月5・20日合併号にて掲載予定。



問い合わせ先

日本医師会総務課 TEL：03-3946-2121（代）

関連キーワードから検索

[「日医君」だより](#)

関連記事

[松本会長・3副会長合同記者会見「医師の期待に応えて国民の信頼を得る日本医師会へ」](#)[「経済財政運営と改革の基本方針2022」等の閣議決定を受けて](#)[ウクライナへの医療支援活動近況について](#)[動画「教えて！日医君！HPVワクチン」が完成](#)[第6回救急災害医療対策委員会](#)

2022年 6月27日月曜日

メディアファクス

8767号-2

■ HPVワクチンの啓発活動、「非常に重要」

釜范常任理事

【日医代議員会・答弁要旨】日医は（HPVワクチンについて）、これからの定期接種の対象者はもちろん、この間に接種機会を逃した方に対しても、積極的に接種を受けていただくための啓発活動が非常に重要であると考えている。

一方で、ご指摘のように、HPVワクチン接種に対し国民が不安を抱いた経緯もあり、エビデンスに基づいてワクチンの有効性や安全性、メリットやデメリットを冷静に判断し、接種の可否を保護者や接種対象者が決められる環境整備が求められる。定期接種に携わる医師はもとより、接種に直接携わっていない医師も共に、接種後に見られた症状を訴える方を孤立させることなくしっかり受け止め、医療機関が適切に連携を行い、対応していく体制づくりが重要となる。そのためには、地域の医師会、医療機関の協力が不可欠だ。

キャッチアップ世代への接種勧奨と定期接種の対象年齢を過ぎたために、任意で自費接種で受けた方に対する償還払いについて、3年間と期間が限定されているため、対象となる方への遺漏なき周知が必要だ。さまざまなルートで情報提供がなされるよう、国に求めていく。

9価ワクチンの定期接種化について現在、厚生労働省の検討会において審議が継続されている。新たな選択肢として、早期に定期接種化が実現するよう、引き続き国に働き掛けていく。

【村上美也子代議員（富山）の代表質問に対する答弁】

■ 「勤務医の意見に耳を傾けて」会務を運営

城守常任理事

【日医代議員会・答弁要旨】日医には勤務医委員会をはじめ、全国医師会勤務医部会連絡協議会や都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会など、勤務医に関する事項を協議する場がある。特に勤務医委員会には、全国各ブロック医師会よりご推薦の委員に参画いただいているが、管理者の立場の方々が多いという現状もある。

勤務医委員会は基本的には、会長諮問に対して審議を行い、答申を行うことがミッションとなるが、勤務医の声を会務に反映する観点より、諮問事項のみならず、勤務医にとって関心の高い事項も適宜、検討いただいていた経緯がある。

ブロック医師会よりご推薦の先生方には、ぜひともこれまで以上に、ご所属のブロックや都道府県医師会でくみ取った現場の声、特に若い研修医から病院長、教授といった管理者など、さまざまな立場の方々の意見を定期的に委員会にお寄せいただくとともに、委員会の検討内容を各地域にお戻しいただくという重要な役割を担っていただきたい。

日医は今後とも、勤務医の意見や考え方にしっかりと耳を傾けながら、会務を運営していくので、代議員におかれても、さらなるご支援をお願いする。

【若林久男代議員（香川）の代表質問に対する答弁】